

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和6年12月17日(2024.12.17)

【国際公開番号】WO2022/118301
 【公表番号】特表2023-553012(P2023-553012A)
 【公表日】令和5年12月20日(2023.12.20)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-239
 【出願番号】特願2023-534090(P2023-534090)
 【国際特許分類】

10

H 0 4 W 7 2 / 2 5 (2 0 2 3 . 0 1)
 H 0 4 W 7 2 / 0 2 (2 0 0 9 . 0 1)
 H 0 4 W 9 2 / 1 8 (2 0 0 9 . 0 1)
 H 0 4 W 2 8 / 0 4 (2 0 0 9 . 0 1)
 H 0 4 L 1 / 1 8 1 2 (2 0 2 3 . 0 1)
 H 0 4 L 1 / 1 6 0 7 (2 0 2 3 . 0 1)

【 F I 】

H 0 4 W 7 2 / 2 5
 H 0 4 W 7 2 / 0 2
 H 0 4 W 9 2 / 1 8
 H 0 4 W 2 8 / 0 4
 H 0 4 L 1 / 1 8 1 2
 H 0 4 L 1 / 1 6 0 7

20

【手続補正書】
 【提出日】令和6年12月6日(2024.12.6)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

30

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

ユーザ機器(「UE」)の方法であって、
サイドリンク通信のために予約されたりリソースのセットの表示を備えるサイドリンク制御情報(「SCI」)を受信するステップと、
前記サイドリンク通信のために予約されたりリソースの前記セットのうちの予約されたりリソースについて競合を決定するステップと、
前記競合の表示を物理サイドリンクフィードバックチャネル経由で送信するステップと
 を含む、方法。

40

【請求項2】
 前記SCIが、競合表示が有効かどうかを示すフィールドを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】
 前記SCIが、ハイブリッド自動再送要求(「HARQ」)フィードバックが有効かどうかを示す第2のフィールドをさらに備える、請求項2に記載の方法。

【請求項4】
 サイドリンクデータの初期送信を受信するステップをさらに含み、前記SCIが前記初期送信を伴い、前記物理サイドリンクフィードバックチャネルが、ハイブリッド自動再送要求(「HARQ」)フィードバックを示すためのフィードバックリソースの第1のセットと、

50

リソースの競合があるかどうかを示すためのフィードバックリソースの第2のセットとを備え、フィードバックリソースの前記第1のセットが、前記初期送信に対する肯定応答、および前記初期送信に対する否定応答のうちの1つを報告するHARQフィードバックビットを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

フィードバックリソースの前記第2のセットが、将来のリソースのいずれかに対してリソースの競合があるかどうかを示す単一の競合表示ビットを備える、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記SCIが、将来のリソースの複数の予約を示し、フィードバックリソースの前記第2のセットが、各予約に対する競合表示ビットを備え、各競合表示ビットは、対応する予約に対してリソースの競合があるかどうかを示している、請求項4に記載の方法。

10

【請求項7】

フィードバックリソースの前記第1のセットとフィードバックリソースの前記第2のセットが、
時間領域における共通のシンボル上の別個の物理リソースブロック、ならびに
共通のスロット上、および物理リソースブロックの共通のセット上の前記時間領域における別個のシンボル
のうちの1つを備える、請求項4に記載の方法。

【請求項8】

プロセッサと、
前記プロセッサに結合されたメモリとを備えるユーザ機器 (user equipment: UE)
であって、前記メモリは、
サイドリンク通信のために予約されたリソースのセットの表示を備えるサイドリンク
制御情報 (「SCI」) を受信することと、
前記サイドリンク通信のために予約されたリソースの前記セットのうちの予約された
リソースについて競合を決定することと、
前記競合の表示を物理サイドリンクフィードバックチャネル経由で送信することと、
を前記UEに対して前記プロセッサによって実行可能な命令を含む
UE。

20

30

【請求項9】

前記SCIが、競合表示が有効かどうかを示すフィールドを備える
請求項8に記載のUE。

【請求項10】

前記SCIが、ハイブリッド自動再送要求 (「HARQ」) フィードバックが有効かどうかを示す第2のフィールドをさらに備える
請求項9に記載のUE。

【請求項11】

サイドリンクデータの初期送信を受信するステップをさらに含み、前記SCIが前記初期
送信を伴い、前記物理サイドリンクフィードバックチャネルが、ハイブリッド自動再送要
求 (「HARQ」) フィードバックを示すためのフィードバックリソースの第1のセットと、
リソースの競合があるかどうかを示すためのフィードバックリソースの第2のセットとを
備え、フィードバックリソースの前記第1のセットが、前記初期送信に対する肯定応答、
および前記初期送信に対する否定応答のうちの1つを報告するHARQフィードバックビッ
トを備える
請求項8に記載のUE。

40

【請求項12】

フィードバックリソースの前記第2のセットが、将来のリソースのいずれかに対してリ
ソースの競合があるかどうかを示す単一の競合表示ビットを備える
請求項11に記載のUE。

50

【請求項 13】

前記SCIが、将来のリソースの複数の予約を示し、フィードバックリソースの前記第2のセットが、各予約に対する競合表示ビットを備え、各競合表示ビットは、対応する予約に対してリソースの競合があるかどうかを示している

請求項11に記載のUE。

【請求項 14】

フィードバックリソースの前記第1のセットとフィードバックリソースの前記第2のセットが、

時間領域における共通のシンボル上の別個の物理リソースブロック、ならびに

共通のスロット上、および物理リソースブロックの共通のセット上の前記時間領域における別個のシンボル、のうちの1つを備える

請求項11に記載のUE。

【請求項 15】

将来の送信のために予約された将来のリソースを示す情報を備えるサイドリンク制御情報(「SCI」)を生成するプロセッサと、

物理サイドリンク制御チャネルの第1のリソースにおいてピアUEに前記SCIを送信するトランスミッタと、

フィードバックリソースにおいて前記ピアUEからフィードバックを受信するレシーバとを備え、

前記フィードバックが、リソースの競合があるかどうかの表示を備え、前記リソースの競合が、前記将来のリソースにおいて予想される衝突を備える、ユーザ機器(「UE」)装置。

【請求項 16】

前記プロセッサが、前記リソースの競合を示す前記ピアUEからの前記フィードバックにตอบสนองして、リソースの再選択をトリガする、請求項15に記載の装置。

【請求項 17】

前記SCIが、競合表示が有効かどうかを示すフィールドを備える、請求項15に記載の装置。

【請求項 18】

前記トランスミッタが、サイドリンクデータの初期送信を送信し、前記SCIが前記初期送信を伴い、前記フィードバックが、ハイブリッド自動再送要求(「HARQ」)フィードバックを示すためのフィードバックリソースの第1のセットと、リソースの競合があるかどうかを示すためのフィードバックリソースの第2のセットとを備え、フィードバックリソースの前記第1のセットが、前記初期送信に対する肯定応答、および前記初期送信に対する否定応答のうちの1つを報告するHARQフィードバックビットを備える、請求項15に記載の装置。

【請求項 19】

フィードバックリソースの前記第2のセットが、前記将来のリソースのいずれかに対してリソースの競合があるかどうかを示す単一の競合表示ビットを備える、請求項18に記載の装置。

【請求項 20】

前記SCIが、将来のリソースの複数の予約を示し、フィードバックリソースの前記第2のセットが、各予約に対する競合表示ビットを備え、各競合表示ビットは、対応する予約に対してリソースの競合があるかどうかを示している、請求項18に記載の装置。

【請求項 21】

フィードバックリソースの前記第1のセットとフィードバックリソースの前記第2のセットが、

時間領域における共通のシンボル上の別個の物理リソースブロック、ならびに

共通のスロット上、および物理リソースブロックの共通のセット上の前記時間領域における別個のシンボル

10

20

30

40

50

のうちの1つを備える、請求項18に記載の装置。

10

20

30

40

50